

鷺山地区の現状と課題

◆現状(平成30年4月現在)◆

- 人口：10,338人 ・世帯数：4,518世帯 ・世帯平均人数：2.29人
 - 自治会加入世帯数：2,999世帯 ・自治会加入率：65.5%
 - 平均年齢：47.78歳 ・高齢化率：30.19%
- ※高齢化率とは、人口に占める65歳以上人口の割合になります。

◆福祉関係活動状況◆

- ふれあい・いきいきサロンの開催
- 一人暮らし高齢者の集い
- 児童と高齢者のふれあい事業
- 介護予防教室の開催
- 子育て支援事業(さぎっ子くらぶ、親子ふれあい教室、子育て支援ひろば)
- 料理教室の開催(男の料理教室、三世代親子料理教室)
- 支部広報紙の発行(鷺山の福祉)



◆鷺山の抱える課題◆

- 今後増加することが予想される高齢者への対応。
- 避難行動要支援者(約400名)に対する支援体制の構築。
- ミニサロン等の実施にあたり、担い手の確保・育成。
- 地域福祉活動を支える自治会加入率の低下。



計画の推進に向けて

◆地域福祉活動計画の住民への周知◆

- リーフレットの配布、広報紙、ホームページ「さぎ山の広場」等により地域住民へ情報発信を行い、地域福祉活動計画の周知を図ります。
- 充実した地域福祉活動に向けて、自治会への加入促進を図ります。

◆計画推進の体制構築、進行管理◆

- 岐阜市社会福祉協議会 鷺山支部 理事会等で事業の報告・評価を行い必要に応じて活動内容の見直しを図ります。

鷺山地区 地域福祉活動計画

声をかけ合い、誰もが安心して心豊かに暮らせるまち
さぎやま



住民相互の見守り・支え合い活動の促進を図り、災害緊急時の支援活動にかかる事業を推進し、三世代誰もが住み慣れた「鷺山」で心豊かで健康的にいきいきとした生活ができる福祉社会の実現を目指します！

岐阜市社会福祉協議会 鷺山支部

平成30年10月

重点目標



1 「日常の見守り活動」の推進

高齢者や障がい者、お一人暮らしの方、子どもなど支援を必要とする人が孤立してしまわないように見守り・助け合います。

◆具体的な取り組み◆

- ① 自治会長、民生児童委員、福祉委員が情報を共有し、日常の見守り活動を行い、必要に応じてお声かけする。
- ② みんながあつまる『サロン』を随時開催する。

各地区での交流の場『ふれあい・いきいきサロン』



2 民生児童委員・福祉委員の連携強化

「安心・命のバトン情報だより」は、ご自分の医療情報をカードに記入し『赤いミニチュアポスト』に入れて冷蔵庫の中に保管します。急病、けが等で駆け付けた救急隊員は、必要とする情報をいち早く知ることができ、適切に医療機関への対応ができます。

「赤いミニチュアポスト」は、60歳以上のひとり暮らし、65歳以上の高齢者世帯の希望者に配布します。希望者は、地元の自治会長にお問い合わせください。

◆具体的な取り組み◆

- ① 『赤いミニチュアポスト』の新規設置及び情報内容を更新する。
- ② 定期的に自治会長を含め民生児童委員と福祉委員の『交流の場』を設ける。



3 避難行動要支援者の支援強化

鷺山地区では『災害対策基本法』に基づく『避難行動要支援者』が約400名在住です。自治会長、民生児童委員、福祉委員が情報を共有し、日常の見守り活動、発災時のお声かけなどを実践し支援します。



◆具体的な取り組み◆

- ① 『支え合いマップづくり』を各地区自治会単位で実施し、『避難行動要支援者』等の情報を共有する。
- ② 『福祉避難所』開設・運営に向けて取り組む。



情報共有の場『支え合いマップづくり』